



2 安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり (持続可能な漁業生産を確保するための漁港施設の強靱化・長寿命化対策)

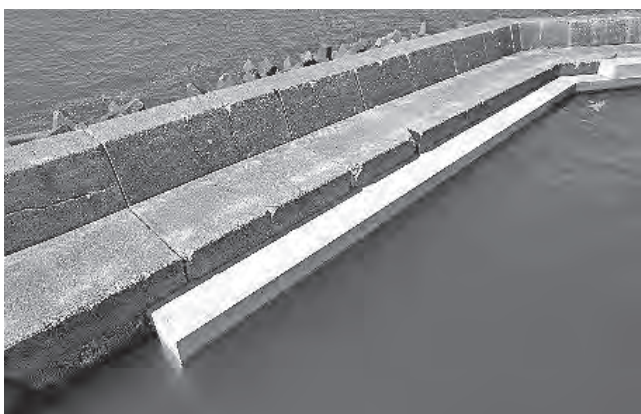
北海道周辺では、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等の発生が懸念されているほか、頻発化・激甚化する低気圧災害等に対応するため、防波堤・岸壁等の耐震・耐津波・耐浪化対策、漁港施設の長寿命化対策を推進します。



防波堤の嵩上げによる越波対策



用地の嵩上げによる防災対策



プレキャスト型枠を活用した長寿命化対策

主な事業

○白尻地区 特定漁港漁場整備事業

白尻漁港は、北海道渡島半島東部に位置し、大型定置網漁業やスケトウダラ刺網漁業、コンブ養殖漁業の拠点であるとともに、イカ釣り外来船の基地港としての重要な役割を担っています。

本港では、野天での陸揚げ、荷さばき作業、漁獲物の一時保管を余儀なくされており、鮮度低下や異物混入による品質低下が課題となっています。また、地震・津波発生時における陸揚機能の確保、避難路の確保が急務となっています。

このため、水産物の衛生管理対策として屋根付き岸壁を整備するほか、地震・津波発災後における水産業の早期再開を可能とするため、主要な岸壁及び防波堤の耐震化・耐津波化に加え、避難機能を併せ持つ臨港道路を整備し、水産物流機能の向上と漁港利用者の安全確保を図ります。

(1) 計画内容

- ・計画箇所 白尻地区(函館市)
- ・主要計画施設 北防波堤(改良)149m、-4.0m岸壁(改良)175m、臨港道路1,069m等
- ・全体事業費 約58億円
- ・事業予定期間 令和3年度～令和12年度



白尻漁港 全景